事業所における自己評価アンケート

		項目	はい	どちらかといえばはい	どちらかといえばいいえ	いいえ	課題や改善すべき点
環境・体制設備	1	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である	2		5	2	スペースは児童5人ぐらいがよい。放デイにとってはせまいのでは？児発と放デイでは部屋を分けたい。日によって、利用児の特性によって、スペースが十分でない時がある。クールダウンの場所が必要。職員配置は放デイが少ない。駐車場から入り口までが危険。
	2	職員の配置数は適切である	2	4	2	1	
	3	生活空間は本人にわかりやすい構造化された環境になっている。 障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされている		3	4	2	
	4	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっている また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3		5	1	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参加している		4	4	1	評価が不足
	6	保護者に対して事業所の評価アンケートを実施し、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	4	2		
	7	事業所向け自己評価表及び、保護者向け評価表の結果を踏まえ事業所として自己評価を行い、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2	1		？1
	8	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげている		2	2	3	？2
	9	職員の資質向上を行うために、研修のい機会を確保している	3	2	3	1	会議での研修は良いと思う。事業内での研修がもっとあるといい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を分析したうえで、個別支援計画を作成している	5	2	2		定期的に保護者のニーズを把握する時間や場を設ける。活動プログラムは明確にチームをわけて相談が必要。
	11	子どもの適応行動の状況を図るため、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	5	3		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援のガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）、家族支援、地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	3	3		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	1	5	3		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	2	4	1	？1
	15	療育プログラムが固定化しないよう工夫している	2	3	3		？1

		項目	はい	どちらかといえばはい	どちらかといえばいいえ	いいえ	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	3	1		？1
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	4	3	1	現在行えてないので、朝の打ち合わせは今後していきたい。振り返りやフィードバックも出来ていない。送迎前などに時間をつくつ必要あり。
	18	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点等を共有している		2	3	4	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援 の検証・改善につなげているか	3	2	1 2	1	カーデックスの記入として記録は取れている。数か月記入されていないこともある。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	3	2		？1
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参加している	3	2	2		？2
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	1	3	1	？2
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合、地域の保健・医療、障害福祉、保育・教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	2	3	2	？2 相談員や連携担当が固定されていて多くの機関と広く情報交換がしにくい
	24	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整 えている	1	4	2	1	？2
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図り連携をとっている	1	2	3	3	他機関との連携がおこなえてないので、今後必要と感じる。他機関との連携は行えているのかどうか疑問である行っているのであれば、どこまで、どのように？情報を共有していきたい。ViViとの交流はコロナ以前ではあったが、今後どう交流するか課題。交流の機会は　増やしていきたい。 送迎時に保護者へ様子を伝えるのは、時間に限りがあり難しい。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携 し、助言や研修を受けている	1	1	5	2	
	27	保育所や認定こども園、幼稚園、小学校との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	4	2	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	2	2		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	1	2	4	1	？1

		項目	はい	どちらかといえばはい	どちらかといえばいいえ	いいえ	課題や改善すべき点
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	3	1		？1
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	1	1		？1
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	3	1		？1
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	3	2	？1 父母会・保護者会がない
	34	保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整えるとともに周知 し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対 応している	3	3	2		？1
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に対して発信 している	6	2	1		タイムリーな対応が必要。保護者との情報伝達の場が少ない。必要性を感じる。
	36	個人情報の取扱いに十分注意している	5	4			
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	2	2		？1
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	5			周知が必要
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	3	1		？1
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5	3			？1 周知・把握が必要
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	3		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	4			
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	3	2		
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	2	1		検討中